

大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト 事業概要



大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクトの概要

◆背景

東日本大震災で港湾施設や水産流通加工業者の冷蔵・冷凍施設など、市内全域で大きな被害を受け、国際貿易コンテナ定期航路が休止

◆事業の目的

- 国際水産・物流拠点としての大船渡の復活
 - ・水産のまち・大船渡の復活
 - ・三陸沿岸地域の水産業を中心とした貿易拠点港の形成

◆事業の経過

平成24年 8月	公益財団法人 日本財団とプロジェクト事業の検討を開始
11月	公益財団法人 日本財団とプロジェクト実行委員会が大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト助成契約を締結
12月	コンテナヤード附帯施設整備着手
平成25年 9月	大船渡港国際フィーダーコンテナ定期航路開設
平成27年 5月	大船渡湾冷凍水産加工業協同組合 冷蔵・冷凍施設建設工事着手
平成28年10月	大船渡港コンテナ用上屋倉庫建設工事着手
平成29年 3月	大船渡湾冷凍水産加工業協同組合 冷蔵・冷凍施設建設工事完了
6月	大船渡港コンテナ用上屋倉庫建設工事完了
7月	コンテナヤード附帯施設整備完了

◆事業の推進体制



○事業費総額
1,981,058,828円
○うち日本財団からの支援
816,110,000円

国・県・市

補助金

支援金

プロジェクト実行委員会【事業全体の取りまとめ】

大船渡湾冷凍
水産加工業協同組合

大船渡市

大船渡国際港湾
ターミナル協同組合

管理運営

管理運営

管理運営

【冷蔵・冷凍施設】



整備費：1,339,668,000円
(うち支援額:174,720,000円)

【コンテナ用上屋倉庫】



整備費：370,932,477円
(全額支援)

【コンテナヤード附带施設等】



整備費：270,458,351円
(うち支援額:270,457,523円)

大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト全体像



■物流拠点機能の整備

大船渡港コンテナ用上屋倉庫の整備

- ◆小口貨物の一時保管が可能
- ◆上屋での詰め込み・取り出し作業可能



大船渡港利用の幅が広がります。

◆施設の概要

- ・鉄骨造平屋建
- ・建築面積=2062.29㎡
- ・ストックヤード=1094.52㎡
- ・屋外荷さばき場=844.01㎡
- ・事務棟(事務室、倉庫、トイレ、湯沸室、電気室など)=12.76㎡
- ・駐車場=18台



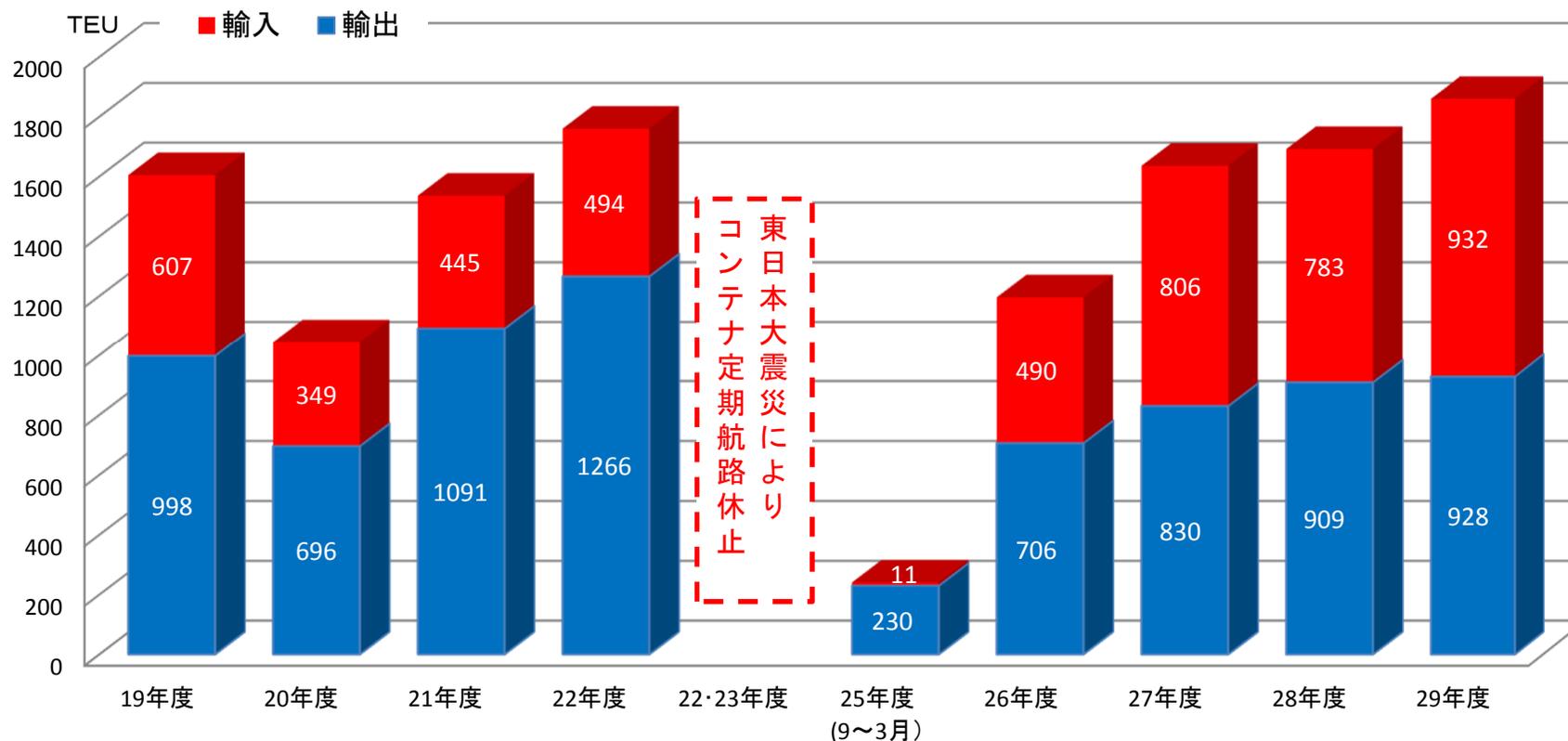
◆使用料

- ・1円未満の端数は切り捨て
- ・100円に満たないときは100円

使用日数	使用料(1㎡あたりの使用料)
5日まで	無料
6日から15日	1日ごとに16円20銭
16日から30日	1日ごとに32円40銭
31日以上	1日ごとに48円60銭

大船渡港コンテナ貨物取扱量(実入り)

航路開設以降、大船渡港コンテナ貨物取扱量はグラフのとおり順調に増加しています。
今後においても、プロジェクトの目的である大船渡港の貿易拠点化に向け、コンテナ用上屋倉庫
及び水産加工冷蔵・冷凍施設を有効活用し、一層の大船渡港の利用拡大を図って参ります。



国際貿易コンテナ定期航路

国際フィーダーコンテナ定期航路